

流山の景気動向

流山商工会議所では、役員・議員・青年部員の事業所にご協力いただき、地域の景気動向を3か月ごとに調査しております。この度、みなさまからいただいた調査票をもとに、令和7年11月の結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

次回調査は、令和8年2月となりますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

<調査概要>

○調査対象月

令和7年11月

○調査期間

令和7年12月1日から12月11日

○調査対象

流山商工会議所会員事業所

○回答数

建設7、製造7、卸・小売8、サービス16

合計38事業所

○調査項目

全国LOBOに準拠した項目および向こう3ヶ月の見通し

(DI値を集計)

○付帯調査

設備投資の動向

生成AIの活用状況



流山商工会議所

◆流山の景気動向【概要】

全産業合計の業況DIは、+2.6（前回比+16.5ポイント）。全国DIと比較すると+20.5ポイント。前回調査と比較すると売上高と採算、業況の主要三指標が全産業でプラス（建設業の業況を除く）に転じ、明るさが増している。しかし、製造業や建設業では極度の人手不足感や仕入単価の継続的な高騰が今後の懸念材料として残る。

生成AIの活用状況は、半数が利用しており、活用を検討している事業所を含めると73.8%となっているが、情報の正確性など、課題も多いようである。

<流山おおたかの森S Cの概況>

引き続き映画館が好調、また寒さが進んだことで衣料品も伸長、駅前広場のイベントも好調で、全体的に前年超過の好結果となった。売上106.1%、入館客数105.9%

<流山工業団地の概況>

求人募集してもなかなか応募がないため、今後は、女性で製造業に興味ある方を集め、企業説明会、インターンシップ（職場体験）などを実施し、雇用を確保できるような事業を考えたい。

◆流山の全産業天気図

天気図		業況		売上		採算		仕入単価		従業員		資金繰り	
		今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き
全産業	流山												
		2.6	7.9	2.6	5.3	2.6	10.5	▲ 60.5	▲ 50.0	39.5	36.8	▲ 5.3	7.9
	全国												
凡例													

凡
例



特に好調
(D I ≥ 30)

好調
(30 > D I ≥ 15)

まあまあ
(15 > D I ≥ 0)

やや低調
(0 > D I ≥ ▲ 15)

低調
(▲ 15 > D I ≥ ▲ 30)

極めて低調
(D I < ▲ 30)

※D I値（景況判断指数）について

D I値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

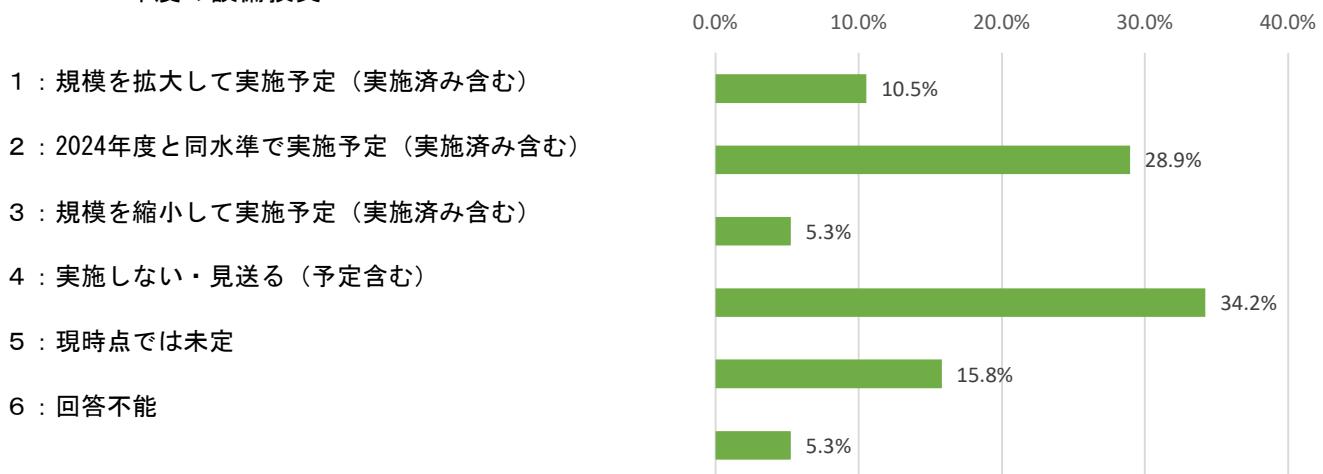
したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

$$D I = (\text{増加} \cdot \text{好転などの回答割合}) - (\text{減少} \cdot \text{悪化などの回答割合})$$

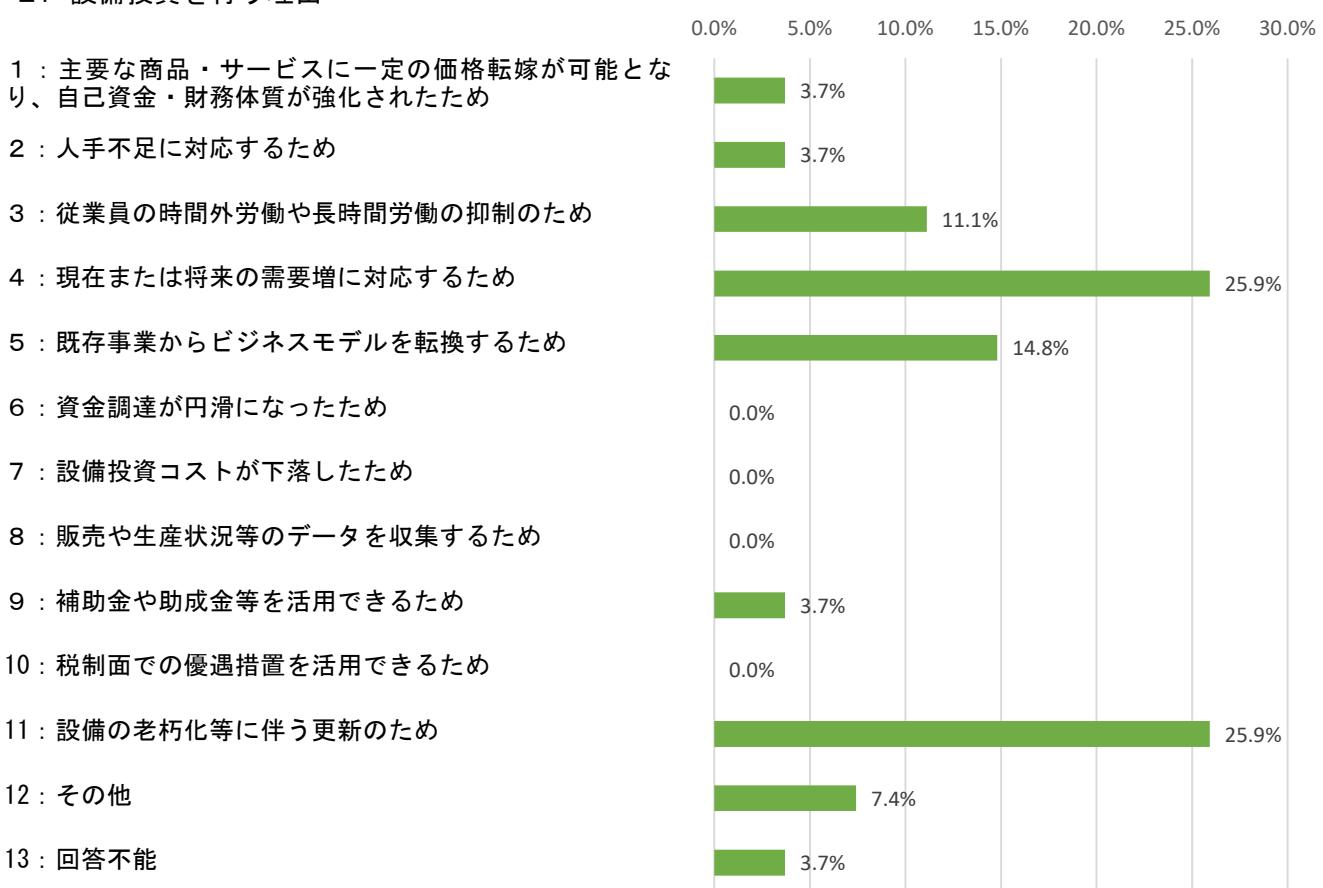
❖付帯調査

1. 設備投資の動向

1－1. 2025年度の設備投資



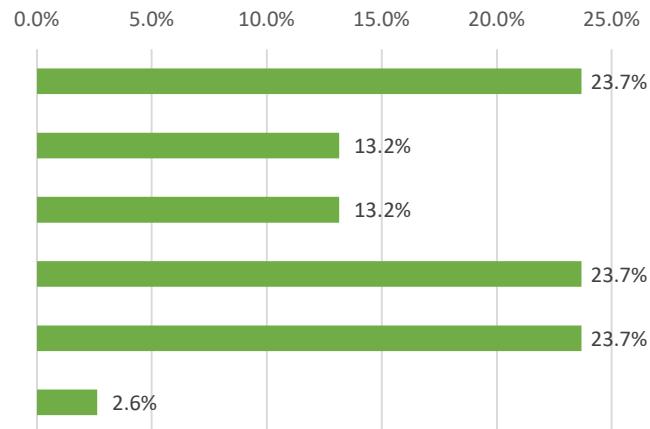
1－2. 設備投資を行う理由



2. 生成AIの活用状況

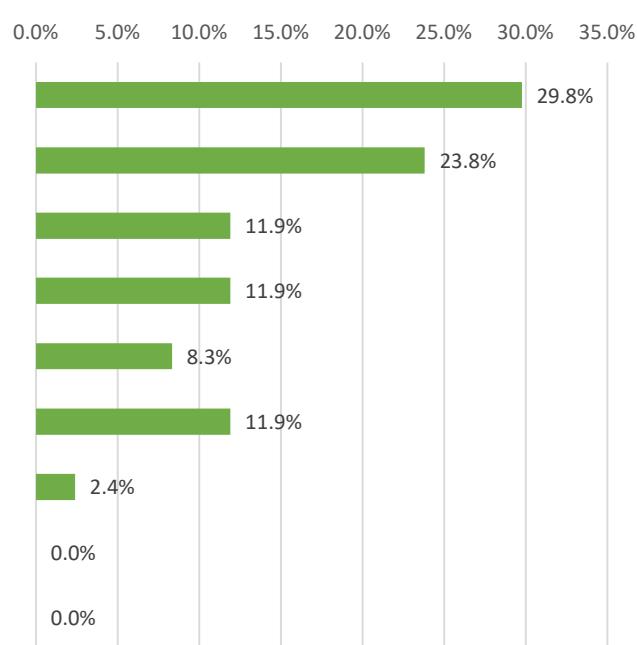
2-1. 生成AIの業務への活用状況

- 1 : 全社的に活用している
- 2 : 特定部門で活用している
- 3 : 希望者のみ活用している
- 4 : 現状では活用していないが、今後活用を検討している
- 5 : 活用する予定はない
- 6 : 回答不能



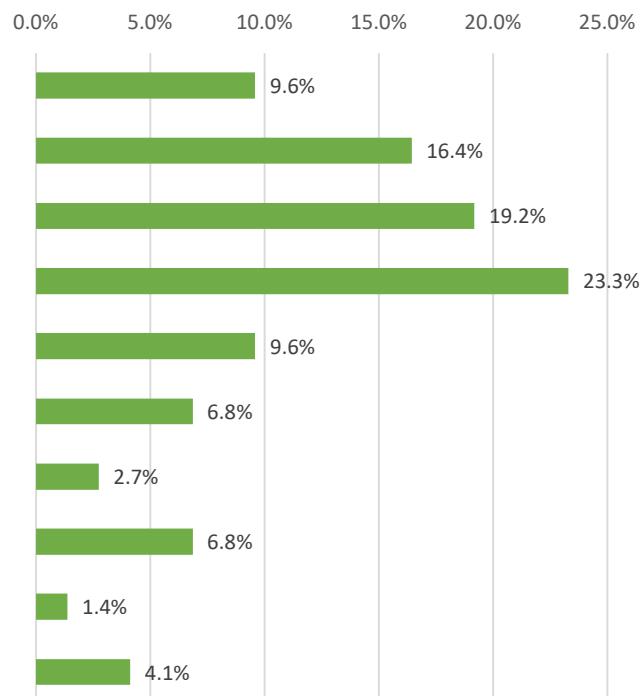
2-2. 生成AIを活用（活用を検討）している業務

- 1 : 文書作成・要約
- 2 : 情報収集・アイデア出し
- 3 : 契約書・法務関連対応
- 4 : マーケティング
- 5 : 顧客対応
- 6 : デザイン・画像生成
- 7 : プログラミング・開発
- 8 : その他
- 9 : 回答不能



2-3. 生成AIを活用するにあたっての課題

- 1 : 導入・維持費用
- 2 : 活用できる社員が少ない、教育コストがかかる
- 3 : 生成AIの活用に関する社内ルールを規定する必要がある
- 4 : 生成された情報が不正確なことがある、ファクトチェックが必要
- 5 : 生成物が著作権侵害をしていることがある
- 6 : 情報漏洩のリスクがある
- 7 : 差別的な表現や偏った情報が含まれる可能性がある
- 8 : 自社で活用できる業務が見当たらない
- 9 : その他
- 10 : 回答不能



【コメント欄より一部抜粋】

- ・市場の消費動向の縮小傾向がより顕著になってきているのを感じる。「より安く」を求める傾向が強くなっている、価格転嫁が鈍化している。
- ・国産原料は高騰、ユーティリティ設備や人件費の上昇で、値上げをしたいところであるが……
- ・経営に活用すべき、また取り組むべき観点として、AIとセキュリティが重要。
- ・他のジャンルへのクロスオーバーが必要な時期。ひとつのジャンルでは、縮小してしまう。
- ・10・11月は予想以上に好調だったが、中心事業は減益が続く。
- ・インボイスのため、事務作業量が非常に増えている。